

富士スピードウェイと筑波サーキットで本気テスト!
最新BMWデモカーが楽しい!

afimp

[オートファッション・インプ]

1 2019
JANUARY
Vol.286

www.kotsu-times.jp/afimp/

今、最強の BMW

あなたの好きなタイプはどれ?



ミスターBMW
鈴木BOB康昭
ロングインタビュー



Auto Messe Web
<https://www.automesseweb.jp>



1.カーボン製トランクスポイラーを装着することで、尻下がりの印象を払拭
2.前後ともにブレーキローターはRDD製に変更済み 3.エキゾーストはフロントパイプから変更し、リアピースはスーパープリントを装着 4.M6用ディフューザーでシンプルにまとめた 5.ホイールはハイパーフォージドHF-LC5の21インチモデルを選択。鍛造らしいブラッシュドを全面に押し出す 6.サイドスカートも3Dデザインを選択 7.3Dデザインのフロントスポイラーとカーボンスポイラーの組み合わせ



→「普段はあまり乗る機会がないのですが、たまにハンドルを握るといいクルマだなと実感します」といまでも大のお気に入りだと語る瀧井代表。

わせることで、この低いスタイリングとKWらしい走り、そこに緊急時の車高調整ができる利便性を持つエクストリームなアシとなっている。また、ボディキットは3Dデザインを軸にM6用リアディフューザーを組みわせ、極力派手になる要素を排したらしい仕立てで、スポーティでありながらグランクーペの気品をしっかりと保つ。数々のクルマを見てきた瀧井代表をして「ずっと手元に置いておきたい」と言わせるほど、極めて完成度の高い一台に仕上がった。

流麗なスタイリングと使い勝手の良い4ドアを両立し、踏み込めば450PSのエンジンが応えてくれる。同カテゴリーにはM3やM6も存在するが、どんなに抑えようとしてもヤル気が溢れる前者に対し、この650iグランクーペなら街中にもすんなりと溶け込むことが可能だ。そのうえでその気になって楽しむこともできるのだから、Mとは異なる頂を目指したBMWの最高峰だといえよう。そんな650iグランクーペに惚れ込み、かれこれ2年に渡って楽しんでるのがティーズクラブの瀧井代表だ。なかでも希少な左ハンドルモデルというのがお気に入り、たまにエンジンに火を入れてはクルージングを楽しんでいる。詳しくクルマを見てみると、まず目に飛び込んできるのが足回りのセットアップ。ホイールをハイパーフォージドHF-LC5に履き替えて気分一新した今回は、フィニッシュを素材感重視のブラッシュド重視でコーディーネイトし、650iのキャラにあったオトナのムードを狙う。特筆すべきはホイールの奥にあるブレーキ。コチラは懇意のメイカーズとの協議のうえ、ブレンボキャリパーにRDD460mmローターを組み合わせ、安全面をさらに強化した。デザイン、カラーリングともにシンプルを貫くティーズクラブのクルマとしては珍しい、鮮やかな赤のワンポイントも映える。さらに足回りもKWバージョン3車高調をベースに、ボルドワールのヴァルフアムカップを組み合

気品を損なわないオトナの仕立て



SPEC
エクステリア
3Dデザイン
フロントスポイラー
サイドスカート
トランクスポイラー
M6用リアディフューザー
ホイール
ハイパーフォージドHF-LC5 21インチ
足回り
KW車高調Ver.3
ボルドワール ヴァルフアムカップ
ブレーキ
ブレンボキャリパー
RDD460mmローター
マフラー
スーパープリント

T'S CLUB

× BMW 650i

極力派手になる要素を排した
“らしい”仕立ての調律が光る

惚れ込んだ一台だからこその強い想いが滲む650iグランクーペ。
3Dデザインのエアロ+M6用リアディフューザー、
そして、絶妙な車高と足元のハイパーフォージドで完成度を高めている!

問●ティーズクラブ TEL.079・437・9224 www.ts-club.com
写真&文●浦野浩之

